

通信・放送の在り方に関する懇談会
追加質問回答



平成18年4月5日
ソフトバンク株式会社

質問1

孫社長はNTT東西のアクセス会社の分離が必要であると強く主張されたが、仮にアクセス分離という構造分離が実現されなければ通信市場の公正競争は実現しないのか。他に取り得る選択肢は考えられないのか伺いたい。

公正な競争による通信市場の発展には最終アクセス部分について

- ① 小売と卸の分離によるボトルネックの解消
- ② ドミナント性の排除

が必要。

そのためには、

1. ユニバーサル回線会社による、アクセス網の構造分離（上下分離）
2. NTT持株会社の廃止、ドミナント性を排除した形でのNTT各社の再編（完全資本分離）

を行うことが必須

質問2

ご主張のように、アクセス会社を分離し、NTTが資本分離された場合、その後の各社の再統合についてどう考えるか、伺いたい。

再統合により、NTTのドミナント性が増大することが懸念される
したがって、再統合による、ドミナント性（市場支配力）の排除が必要

- ① ユニバーサル回線会社によりNTTが構造的に分離される場合、ユニバーサル回線会社以外については、次の措置は担保することが必要
 - (a) ユニバーサル回線会社の分離独立維持
 - (b) 分離後のNTT各社（ユニバーサル回線会社は除く）については、完全に公正競争が確保されるまで再統合を禁止する
- ② 市場支配力を排除するための新たな枠組み（ドミナント規制等）が必要

担保すべき措置

(a) ユニバーサル回線会社の分離独立維持

ユニバーサル回線会社の
統合禁止



(b) 分離後のNTT各社(ユニバーサル回線会社は除く)については、完全に公正競争が確保されるまで再統合を禁止

NTT各社の
再統合禁止

